

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習Ⅰ		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	「自律」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。					
到達目標	学校内外の行事を通して学生のチャレンジ精神・感謝等の「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと学生の個別ガイダンスを合わせた評価C以上取得。(A・B・C・Dの4段階評価とし、レポート、ガイダンス内容等を学校で定めた成績評価の基準とする)					
授業計画	総授業時間数 116 時間 授業回数 116 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	LHR ロングホームルーム(クラス行事、学生個別ガイダンス等を含む)				56
	2	新入生歓迎ビーチパーティ				4
	3	学校全体運動会				4
	4	irc夏フェス(準備期間を含む)				36
	5	EFR				16
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	オリジナルプリント					
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(ビーチパーティやその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、週末テスト、提出課題等の結果により総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和7年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	面接対策Ⅰ		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	就職活動における最も重要な「面接試験」の対策を行う。入退室時の挨拶等基本的なものから、自己PRや志望動機をしっかりと確立させる。					
到達目標	1. リクルートスタイル基準の身嗜みができていて第一印象が良い。 2. 元気・明朗・笑顔で面接に臨むことができる。 3. 質問応答が明確で、無理のない応答ができる。					
授業計画	総授業時間数 58 時間 授業回数 58 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	自己紹介・シラバス配布・科目評価方法・センスアップセミナーについて				4
	2	履歴書作成練習				10
	3	面接練習				36
	4	センスアップセミナー（プレゼンスアップセミナー含む）				8
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					58
教科書	KBC学園 就職活動の進め方					
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等)					
	2. 外部依頼によるスーツ着こなし講習					
成績評価 方法	出席率、授業態度、課題発表、提出課題等の結果により総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	パソコン演習 I		担当者	吉原亜矢子・喜名和歌子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	PC操作の基本、ワード及びエクセルの基本操作を身に付ける事を目的とし、実践的なトレーニングを実施する。					
到達目標	日本語ワープロ検定試験3級以上、日本情報処理技能検定3級以上取得 ①タッチタイピングで10分間300文字以上、及び定型ビジネス文書の作成ができる。 ②四則計算や「IF」など、基本的な関数処理ができる。					
授業計画	総授業時間数 70 時間 授業回数 70 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	ワープロ検定について(パソコン室の使い方等の注意事項)				2
	2	4級速度模擬問題				4
	3	文書作成の注意事項について				2
	4	4級通信文作成練習				2
	5	4級通信文作成模擬問題				2
	6	3級通信文作成練習				3
	7	3級通信文作成模擬問題				3
	8	模擬問題演習(速度＋通信文)				20
	9	表計算作成についての説明				5
	10	四則計算、関数の説明				5
	11	3級模擬問題				22
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	日本語ワープロ検定試験模擬問題集3・4級編及び情報処理(表計算)模擬問題3・4級編					
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬問題の成績、検定試験の結果等総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考			
実務経験紹介	－					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	Interactive English	講義時期	通年
授業科目	英会話 I		担当者	ダン・アントンセン	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	基礎的な英会話を取得する。日常生活なものから、少し高度な空港業務に関する内容も導入し、就職後を見据えて実践する。					
到達目標	Using basic English conversation through beginners level English. Showing capability to use English to introduce one’s self competently					
授業計画	総授業時間数 20 時間 授業回数 20 回 1回授業 50分					授業時間数
	1	Simple Self Introductions!Introducing Your Friend!				2
	2	Tell me about your family Describe your job				2
	3	What did you eat for lunch? What kind of food do you like to eat?				2
	4	What was your childhood like? Tell us about your best friend?				2
	5	What is your favorite holiday? What is your favorite season?				2
	6	What is your favorite country to live? Where do you like to travel?				2
	7	What is the craziest thing you have done and the strangest thing you have				2
	8	What is your dream? Who is your “idol”?				3
	9	What are your main goals for this year? What are your plans for your next				3
	10					
	11					
	12					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	沖縄観光 I		担当者	仲井間 利加子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	沖縄の観光地について学び、また見聞・体験を通して、歴史・文化や暮らしを理解し、観光業発展につなげる。					
到達目標	1.沖縄の地理、概要を知る 2.沖縄の文化を知る事(ブクブク茶) 3.沖縄の41市町村を理解する事					
授業計画	総授業時間数 30 時間 授業回数 30 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	沖縄観光とは？・メラビアン の法則・ペーパー紹介				4
	2	DVD鑑賞(対馬丸)				4
	3	市内研修と首里城公園 課外授業				6
	4	沖縄の伝統工芸				2
	5	沖縄の伝統芸能				2
	6	沖縄の食文化				2
	7	沖縄語(しまくとぅば) 言葉の文化				2
	8	琉球・沖縄の歴史				2
	9	ブクブク茶体験				2
	10	期末確認テスト				4
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					30
教科書	うちな～観光教本(沖縄コンベンションビューロー)					
時間外 学習	1. ブクブク茶体験					
	2. 那覇市内研修					
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等総合的に評価する。					
担当詳細	①.実務家 ②.教員		備考			
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	ヒューマンエデュケーションⅠ（志学Ⅰ）		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要	教育理念と学生行動指針に沿い、行動の仕方、心の持ち方、あるべき姿を深く学び考え、社会から必要とされ続ける“人財”となるべく基本的思考、行動習慣を身につけていく。						
到達目標	志学を通して各章ごとの「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと出席率、志学の教科書記入内容等を合わせた評価C以上取得を目標とする。（A・B・C・Dの4段階評価とし、学校で定めた成績評価の基準とする）						
授業計画	総授業時間数 25 時間 授業回数 25 回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	志学Ⅰ 序章					3
	2	志学Ⅰ 第1章 ～感 謝（クレド1）～					2
	3	志学Ⅰ 第2章 ～感 動（クレド2）～					2
	4	志学Ⅰ 第3章 ～思いやり・気配り（クレド3）～					2
	5	志学Ⅰ 第4章 ～明 朗（クレド4）～					2
	6	志学Ⅰ 第5章 ～挨 拶（クレド5）～					2
	7	志学Ⅰ 第6章 ～素 直（クレド6）～					2
	8	志学Ⅰ 第7章 ～プラス思考（クレド7）～					2
	9	志学Ⅰ 第8章 ～チャレンジ精神（クレド8）～					2
	10	志学Ⅰ 第9章 ～永久戦力（クレド9）～					2
	11	志学Ⅰ まとめ、振り返り					4
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					25
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ						
時間外学習	1. 志学で学んだクレド項目を普段の学校生活にて各自で実践する（立ち止まって挨拶、身だしなみ等）						
成績評価方法	出席率、授業態度、レポート提出状況等総合的に評価する。						
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考				
実務経験紹介	－						

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	ビジネスマナー	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識も習得する。				
到達目標	1. 社会人として基本的な心構えができています。 2. 丁寧語、謙譲語など基本的な敬語の知識を習得している。 3. 姿勢やお辞儀など、基本的動作や電話応対などを習得している。				
授業計画	総授業時間数 34 時間 授業回数 34 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	シラバス配布・科目評価方法・授業の進め方・授業の目的と目標			2
	2	社会人としての心構え			2
	3	言葉遣いの基本(話の仕方、聞き方・敬語の基本)			2
	4	電話応対			2
	5	訪問のマナー			2
	6	携帯ニュースと新聞の違いを理解する・新聞授業の目的を理解する			4
	7	スクラップブック使用方法・実際に新聞を読んで曜日の違いを確認する			4
	8	新聞を読む・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ			4
	9	3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をピックアップし調べる			4
	10	まとめた記事について各グループでディスカッションを行う			4
	11	最終まとめテスト実施			4
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	31				
		合計時間数			
教科書	テキスト:実践ビジネスマナー				
時間外 学習	読書や新聞を読み語彙力を上げる				
	様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる				
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により				
	総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備 考		
実務経験紹介		—			

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリポートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	エアライン実務(基礎)	担当者	市原 瑞貴・吉原亜矢子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	航空会社の業務について、旅客部門、搭載部門について専門用語や航空法に基づく規則を学ぶ。また、国際貨物運送における基礎的知識も習得する。				
到達目標	1. 空港で使用されるコード、特殊車両、航空用語等の確認テストを合格。 (100点満点中60点以上で合格) 2. 那覇空港を就航する各空港の3レターコードを答えることができる。 (30空港中24空港以上正解)				
授業計画	総授業時間数 78 時間 授業回数 78 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	エアライン実務を始める前に			2
	2	航空会社と2レター アライアンス ①航空知識			2
	3	3レター ①航空知識			2
	4	各航空機機種説明 ①航空知識			2
	5	那覇空港従事航空会社概要紹介 ①航空知識			2
	6	1～6まとめテスト ①航空知識			4
	7	グランドハンドリング業務			12
	8	グランドスタッフ業務			26
	9	国際航空貨物概論			26
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	航空用語、空港コード等の授業で学んだ知識の復習を各自で進める。				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.irc.ac.jp/information/			

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリポートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	実用英語 I		担当者	新里玲子・川添樹子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	・過去問・模試演習を通して、1・2次試験の出題傾向を認識する。 ・英検取得に必要な語彙・リーディング力、ライティング力、リスニング力を身に付ける。					
到達目標	・英検出題頻度の高い1,000語を理解できる。 ・英文法の基礎を理解し、30～100語の英作文を作成する事ができる。 ・社会生活に必要な英語を理解し、使用する事ができる。					
授業計画	総授業時間数 132時間 授業回数 132回 1回授業 45分					授業時間数
	1	オリエンテーション				2
	2	実力診断テスト(模擬試験)				4
	3	リーディング(会話文空所補充)				30
	4	ライティング(英作文(意見論述))				17
	5	リスニング(問題演習、シャドーイング、ディクテーション)				18
	6	第1回～第4回 模擬試験(過去問題)、解答解説				8
	7	1次試験対策総まとめ				2
	8	2次試験対策 模擬面接・ペアワーク				8
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	2024年度版過去全6回全問題集(旺文社)、でる順パス単(旺文社)他					
時間外 学習	単語学習(学習アプリ使用)他					
成績評価 方法	【出席5P】【授業態度5P】【確認テスト10P】【提出課題10P】【評価テスト70P】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和7年度		学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ				
学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期	
授業科目	一般学力(国語・数学・時事)	担当者	大原簿記公務員専門学校	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	就職試験(筆記)で出題される義務教育レベルの国語、数学、時事関連の復習を行う。また、SPI対策も行う、基礎学力強化を図る。					
到達目標	1.「書く」「話す」について、学んだ敬語を実践できる。 2. 一般社会で触れる文章・新聞などの漢字の読み・書きができ内容を理解することができる。 3. 四則の計算、簡単な方程式・文章問題を解くことができる。 4. 各単元に沿った問題を理解し、適した計算方法を使い問題を解くことができる。 5. 時事に関する最新の話題について、知識を習得している。					
授業計画	総授業時間数 32時間 授業回数 32回 1回授業 45分				授業時間数	
	1	(国語)漢字の読み・書き①				1
	2	(数学)四則計算①				1
	3	(国語)漢字の読み・書き②				1
	4	(数学)四則計算②				1
	5	(国語)漢字の読み・書き③				1
	6	(数学)四則計算③				1
	7	確認テスト1				2
	8	(国語)熟語・慣用句①				1
	9	(数学)角度の計算				1
	10	(国語)熟語・慣用句②				1
	11	(数学)割合・面積・体積				1
	12	(国語)熟語・慣用句③				1
	13	(数学)分数のかけ算・わり算				1
	14	確認テスト2				2
	15	時事問題①				2
	16	(数学)速さ・道のり・時間の関係				1
	17	時事問題②				1
	18	(数学)反比例・文字式 連立方程式				1
	19	時事問題③				1
	20	(数学)方程式・不等式				1
	21	確認テスト3				2
	22	(国語)敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)				1
	23	(数学)数列				2
	24	(国語)敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)				1
	25	(数学)文章問題				1
	26	確認テスト4				2
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
26						
27						
28						
29						
30						
合計時間数					32	
教科書	最新最強の適性検査クリア問題集 ’24年度					
時間外 学習	テキストの復習、ニュースを見る					
	日常生活で意識して敬語を使う					
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により					
	総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備 考			
実務経験紹介		—				

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	実習・講義		講義時期	通年
授業科目	グランドハンドリング研修Ⅰ		担当者	市原 瑞貴/企業担当		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	企業派遣講師による主要職種の概要に関する知識を座学と空港内での研修を通して職種毎の作業手順、順守すべき諸規則等を習得する。 フォークリフトの運転免許取得を目指すとともに、フォークリフトの操作方法、可動範囲、安全確認等の知識・技術を取得する						
到達目標	1. エアライン実務基礎の振り返りテストの合格。(100点満点中80点以上正解で合格とする) 2. フォークリフト運転技能講習修了の認定を関連団体より交付						
授業計画	総授業時間数 106時間 授業回数 106回 1回授業 45分						授業時間数
	1	久米島研修					16
	2	企業連携授業(JLSAO)					12
	3	企業連携授業(OKAAP)					8
	4	フォークリフト研修					38
	5	県外空港見学研修					32
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					
教科書	オリジナルプリント						
時間外 学習	エアライン実務知識の復習を各自で進める。						
	エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する						
成績評価 方法	出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。						
担当詳細	①. 実務家 2. 教員		備 考				
実務経験紹介		https://www.irc.ac.jp/information/					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	実習・講義		講義時期	前期
授業科目	グランドハンドリング実習 I		担当者	市原 瑞貴/企業担当		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	エアライン実務・エアポート実務・企業派遣講師による授業を空港内での実習を通して職種毎の作業手順、順守すべき諸規則等を習得する。						
到達目標	1. エアライン実務基礎の振り返りテストの合格。(100点満点中80点以上正解で合格とする) 2. 4週間(2週間×2社)の企業インターンシップ終了後のレポートにてC以上の評価結果(A・B・C・Dの4段階評価とする)						
授業計画	総授業時間数 52時間 授業回数 52回 1回授業 45分						授業時間数
	1	インターンシップ(JLSAO)					26
	2	インターンシップ(OKAAP)					26
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数						
教科書	オリジナルプリント						
時間外 学習	エアライン実務知識の復習を各自で進める。						
	エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する						
成績評価 方法	出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。						
担当詳細	①. 実務家 2. 教員		備 考				
実務経験紹介		https://www.irc.ac.jp/information/					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	乙4危険物取扱者(法令・物理・性質)		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	消防法で定める危険物・貯蔵方法についての諸規則や、別表に定める引火性液体の知識に加え、物理的・科学的知識やその性質と消火法などについて学ぶ。						
到達目標	1. 約12回の危険物取扱者模擬試験にて7回合格することが出来る(法令:15問中9問正解で合格、物理:10問中6問正解で合格、性質:10問中6問正解で合格) 2. 危険物本試験にて法令・物理・性質3科目合格						
授業計画	総授業時間数 158時間 授業回数 158回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	危険物取扱者(法令)※導入・校内模試含む					74
	2	危険物取扱者(物理・科学)					54
	3	危険物取扱者(性質)					30
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					158
教科書	向学院 基礎から最新問題までよくわかる 乙四類危険物取扱者受験教科書						
時間外 学習	1.教科書の練習問題を各自で進める。						
	2.校内模試試験結果の誤答レポートの作成を各自で進める。						
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬テスト、本試験の結果により総合的に評価する。						
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考				
実務経験紹介		—					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース1年次		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	エアポート実務 I		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	業界で使用する航空用語や、航空支援特殊車両の特性等,航空機地上支援業務に特化した専門的・実践的な知識を学び、入社後のキャリア形成を図る。					
到達目標	1. 前期で学んだ知識の復習問題の合格することができる。(100点満点中80点以上で正解で合格とする) 2. 航空用語(応用)空港特殊車両(応用)の筆記テストの合格点到達。(それぞれ100点満点中60点以上正解で合格とする)					
授業計画	総授業時間数 34 時間 授業回数 34 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	前期の復習(3レター、2レター、航空用語基礎、航空危険物)				4
	2	航空用語(応用)				4
	3	空港特殊車両(応用)				4
	4	グランドハンドリング作業工程時間(STAY TIME)				4
	5	機体別コンテナ収納台数、Door Side				4
	6	出発から到着までの各部門別作業一連の流れ				4
	7	貨物部門について				4
	8	那覇空港内フィールドワーク				4
	9	学年末テスト				2
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					34
教科書	オリジナルプリント					
時間外 学習	前期で取得したエアポート実務の知識の復習を各自で進める。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等の結果により総合的に評価する。					
担当詳細	①. 実務家 2. 教員		備 考			
実務経験紹介		https://www.irc.ac.jp/information/				

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義・実習		講義時期	前期
授業科目	総合学習Ⅱ		担当者	川添 樹子他		科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。						
到達目標	①ホームルームや担任とのガイダンスなどクラス単位の中で主体性をもって発言行動できる ②イベントの目的や規則などを守り他の存在を意識して行動発言できる。 ③学校独自の就職活動規則や業界一般の活動のスケジュールや慣習などを理解し、他者と協調した就職活動ができる						
授業計画	総授業時間数 82時間 授業回数 82回 1回授業 45分						授業時間数
	1	LHR(学園イベントを含む)					28
	2	新入生歓迎ビーチパーティー					4
	3	学校全体運動会					4
	4	夏フェス					36
	5	サスティナブルマネジメント					10
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					
教科書	オリジナルプリント他						
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(夏フェスその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。						
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考				
実務経験紹介	—						

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	ヒューマンエデュケーション(志学Ⅱ)		担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	何のために“生きるのか”“学ぶのか”“働くのか”を、社会との繋がりの中で自身の生きる姿勢や志について考え、将来の「やりがい」に繋がることを見出し、準備する。						
到達目標	1. ロールモデルとなる人物を挙げ、その人物の生き方を知ることができる。 2. 「働く」ことの意味をしっかりと理解し、自分自身の「志」を定めることができる。						
授業計画	総授業時間数 33時間 授業回数 33回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	序章 志学Ⅰ 振り返り					4
	2	第1章 「志とは」					4
	3	第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ ※家庭学習課題対応					6
	4	第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く					5
	5	第4章 考える力(思考力)を磨く					6
	6	第5章 私の「志」					8
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					33	
	教科書	KBC学園オリジナルテキスト「志学Ⅰ・Ⅱ」					
時間外 学習							
成績評価 方法	出席率、授業態度、レポート提出等総合的に評価する。						
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考				
実務経験紹介	—						

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次	授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	パソコン演習Ⅱ	担当者	與那城 幸美	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	1年次で習得した技能を土台として、パソコン技能を土台として、パソコン検定のさらに上位級取得を目指す。併せて、企業現場で頻繁に活用される技能を習得する。				
到達目標	日本情報処理検定協会の主催する検定試験(準2級以上)の知識及び技能が身についていること。				
授業計画	総授業時間数 58時間 授業回数 58回 1回授業 45分				授業時間数
	1	3級問題の復習(各関数の復習「IF」、「SUM」、「AVERAGE」他)			2
	2	模擬試験問題(2級)演習①(特にVLOOKUPを重点的に理解する)			2
	3	模擬試験問題(2級)演習②(セル証明、IFの応用を理解する)			2
	4	模擬試験問題(2級)演習③(グラフ作成について理解する)			2
	5	模擬試験問題(2級)演習④(随時、解説を行う)			2
	6	模擬試験問題(2級)演習⑤			2
	7	模擬試験問題(2級)演習⑥			2
	8	模擬試験問題(2級)演習⑦			2
	9	模擬試験問題(2級)演習⑧			2
	10	模擬試験問題(2級)演習⑨			2
	11	模擬試験問題(2級)演習⑩			2
	12	模擬試験問題(2級)演習⑪			2
	13	模擬試験問題(2級)演習⑫			2
	14	模擬試験問題(2級)演習⑬			2
	15	模擬試験問題(2級)演習⑭			2
	16	模擬試験問題(2級)演習⑮			2
	17	模擬試験問題(2級)演習⑯			2
	18	ワープロ検定について説明			1
	19	基本タイピング練習			2
	20	受験級決め速度テスト			2
	21	速度 計測			4
	22	通信文のレイアウトについて説明・練習			]
	23	通信文練習			6
	24	通信文 計測			6
	25	検定に向けての再確認(印刷プレビューと印刷について説明など)			1
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			56
教科書	情報処理検定試験 表計算 模擬問題集(準2級・2級)				
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験及び本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備 考		
実務経験紹介	—				

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	航空無線(法規)		担当者	吉原 亜矢子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	電波法に定める無線局の許可制度や無線従事者について諸規則を学び、航空の分野でどのように活用されているかを理解する。						
到達目標	①航空特殊無線技士試験の合格基準(60%以上)を満たしていること。 ②無線局及び無線従事者の役割を理解していること。						
授業計画	総授業時間数 40時間 授業回数 40回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	・動機付け:「航空特殊無線技士」の試験内容説明及び取得のメリット等・電波法の目的・用語の定義 ※家庭学習課題対応					1
	2	・無線局の免許と解説					1
	3	・無線局の免許申請					1
	4	・予備免許中の変更					1
	5	・無線局免許の有効期間及び再免許・記載事項変更					1
	6	・無線従事者					1
	7	・無線局の運用					1
	8	・航空移動業務の通信方法					1
	9	・航空移動業務の通報の送信とりまとめ					1
	10	・業務書類 ・免許状の訂正・再交付又は返納					1
	11	・電波の発射の停止					1
	12	・無線局の免許の取り消し、運用の停止・制限					1
	13	校内模試					28
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					40
教科書	無線従事者養成課程用 標準教科書 法規 航空特用						
時間外 学習	過去問題の復習						
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験、本試験の結果により総合的に評価。						
担当詳細	①. 実務家 2. 教員		備 考				
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/						

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	航空無線(工学)		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	電波の特性や無線機器に関する基礎知識の習得を目指す。						
到達目標	1. 航空特殊無線技士の取得 2. 空港地上職にて「航空特殊無線技士」の資格の活用方法 3. 電気通信術(実技・欧文コード受話と送話)						
授業計画	総授業時間数 32時間 授業回数 30回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	始めに:シラバス配布 授業の進め方と目的 評価の方法について					1
	2	第1章:電波の性質・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	3	第2章:電気と磁気・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	4	第3章:電気回路・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	5	第4章:半導体及び電子管・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	6	第5章:電子回路・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	7	第6章:無線通信装置・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	8	第7章:無線航法装置・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	9	第8章:レーダー・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	10	第9章:空中戦系・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	11	第10章:電波の伝番・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	12	第11章:混信など・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	13	第12章:電源・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	14	第13章:測定・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	15	第14章:点検及び保守・本試験過去問題による演習 解答と解説					1
	16	工学最終確認テスト 解答と解説					1
	17	実技試験の実施方法と合格基準 ファナティックコードの説明と暗記					4
	18	実技練習(受話):ラジカセから流れるコードを聴き、シートへ書き取る					2
	19	実技練習(受話):ラジカセから流れるコードを聴き、シートへ書き取る					2
	20	実技練習(送話):ファナティックコードを試験官に向けて読み上げる					2
	21	実技練習(送話):ファナティックコードを試験官に向けて読み上げる					2
	22	実技練習(送話):ファナティックコードを試験官に向けて読み上げる					2
	23	実技最終確認テスト					2
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					32
	教科書	航空特殊無線技士 無線工学					
時間外 学習	授業プリント内容の復習						
	模擬試験の誤答問題の復習						
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験、本試験の結果により総合的に評価。						
担当詳細	①. 実務家 2. 教員		備考				
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/						

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義・演習		講義時期	通年
授業科目	実用英語II		担当者	新里・ノール・川添		科目必修区分	前期
授業概要 (目的)	・過去問・模試演習を通して、1・2次試験の出題傾向を認識する。 ・英検合格に必要な英語力(語彙・文法・読解・ライティング、リスニング)を習得する。						
到達目標	・英検出題頻度の高い1,000語を理解できる。 ・英文法の基礎を理解し、30～100語の英作文を作成する事ができる。 ・社会生活に必要な英語を理解し、使用する事ができる。						
授業計画	総授業時間数 92時間 授業回数 92回 1回授業 45分						授業時間数
	1	オリエンテーション					1
	2	実力診断テスト(模擬試験)					2
	3	大問1対策: 語彙・イディオム、文法					11
	4	大問2対策: 語彙・イディオム、長文読解(空所補充)					4
	5	大問3対策: 語彙・イディオム、長文読解(Email、長文読解)					4
	6	大問4対策①: 語彙・イディオム、ライティング(要約/Email)					11
	7	大問4対策②: 語彙・イディオム、ライティング(英作文)					11
	8	リスニング対策(問題演習、シャドーイング、ディクテーション)					10
	9	第1回～第4回 模擬試験(過去問題)、解答解説					12
	10	1次試験対策総まとめ					10
	11	2次試験対策(問題内容・解答方法、質問応答練習、模擬面接)					16
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					
教科書	2025年度版過去全6回全問題集(旺文社)、でる順パス単(旺文社)他						
時間外 学習	単語学習、ライティング(要約/Email、英作文)他						
成績評価 方法	【出席10P】【授業態度10P】【確認テスト20P】【提出課題20P】【評価テスト40P】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次	授業方法	演習	講義時期	通年
授業科目	英会話Ⅱ	担当者	非常勤講師	科目必修区分	前期
授業概要 (目的)	Prepare, practice, and present varying types of speeches in English and gain knowledge and experience in proper manners in public speaking.				
到達目標	・日常生活やビジネスシーンで使う英語力が身に着く。 ・プレゼンテーション内容の構成や原稿作りの体験を重ねることで、短時間で準備し印象に残る発表が英語で出来る。				
授業計画	総授業時間数 48時間 授業回数 48回 1回授業 45分				授業時間数
	1	Getting Ready for Speech (Self Introductions) Unit One Part 1			8
	2	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format			8
	3	Unit One Part 2 Basic Patterns, Self-Introductions with partners			8
	4	Unit One Review and Self-Introductions Test Presentations			6
	5	Getting Ready for speech (Introducing Someone) Unit Two Part 1			6
	6	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format			6
	7	Unit Two Part 2, Introducing Someone, Patterns, and Practice			6
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	Getting Ready for Speech "A Beginner's Guide to Public Speaking" (Language Solutions Publishing/Charles LeBeau & David Harrington)				
時間外 学習					
成績評価 方法	【出席率(30%)】【授業態度(30%)】【評価テスト(40%)】 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次	授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	入社前トレーニング	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	・「入社前研修」を控え、社会人としての最低限必要なマナーや知識を習得し、新入社員としての立ち位置を理解することが出来る。 ・働く条件や労働関連についての用語や意味を理解することが出来る。 ・また業界知識の習得を入社する前に図ることを目的とする。				
到達目標	・航空業界での必要な基礎的な専門用語を理解できる(オペレーションハンドリング用語およびスリーターなど)。 ・各航空会社の適用条件を理解することができる。				
授業計画	総授業時間数 34 時間 授業回数 34 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	エアラインで働く前に知っておきたい用語			11
	2	オペレーションハンドリング専門用語の解説			11
	3	通話用語			11
	4	まとめテスト			1
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	自主作成プリント				
時間外 学習	①専門用語の暗記				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	エアポート実務Ⅱ（実務・KYT）		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 （目的）	空港に関する関係法規とその内容を理解し、1年次に取得した知識より高度な航空機地上支援業務の知識を習得する。					
到達目標	1. 1年次、2年次にて学んだ航空知識のまとめ問題を合格。（100点満点中80点以上で正解で合格とする） 2. 全国並びに世界3レター8割理解できる。（約120問中96問以上正解で合格とする） 3. CAB車両試験問題模擬試験合格。（100点満点中80点以上で合格とする）					
授業計画	総授業時間数 44 時間 授業回数 44 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	全国3レター				4
	2	世界主要都市空港3レター				2
	3	エアポート実務Ⅱの趣旨説明				2
	4	1年次の復習テスト				4
	5	全国3レターテスト				2
	6	世界主要都市空港3レターテスト				2
	7	航空機機種別コンテナ搭載台数とDoor SIDE				4
	8	旅客航空用語				4
	9	3～8まとめテスト				4
	10	CAB車両試験対策				10
	11	CAB車両試験まとめテスト				4
	12	まとめ、振り返りレポート提出				2
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					44
教科書	教科書はなく、教務の作成委したプリントにて授業を行う。					
時間外 学習	1. 1年次で取得したエアポート実務の知識の復習を各自で進める。					
	2. 各確認テストにて合格点未満の学生対しては時間外に追試験を行う。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、各テスト、					
	及び、学期末テストの結果により総合的に評価する。					
担当詳細	①. 実務家 2. 教員		備 考			
実務経験紹介	https://www.irc.ac.jp/information/					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース 2年次		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	B検ジョブパス		担当者	崎山さとみ	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	充実したキャリアビジョンを構築するため、社会人に必要な、コミュニケーション能力、仕事の基本、人間関係、ビジネスツールなどの知識を習得し、検定3級取得を目指す。					
到達目標	①ビジネスマナーとコミュニケーションの基本を理解し、習熟度テストで合格できる。 ②仕事の実践とビジネスツールの知識を理解し、理解度テストで合格できる。					
授業計画	総授業時間数 80時間 授業回数 80回 1回授業 45分					授業時間数
	1	キャリアと仕事のアプローチ				2
	2	社会活動の基本				4
	3	コミュニケーションマナーの重要性				4
	4	指示の受け方と、報告・連絡・相談				4
	5	話し方と聞き方のポイント				4
	6	電話応対				4
	7	話し方と聞き方のポイント				4
	8	来客対応と訪問の基本マナー				4
	9	冠婚葬祭のマナー				4
	10	仕事の取組み、進め方				2
	11	ビジネス文書の基本				4
	12	統計データの作り方、読み方				2
	13	情報収集とメディア活用				2
	17	会社数字の読み方				2
	19	ビジネス能力検定テスト校内模試				34
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式試験問題集					
時間外 学習	新聞を読み、様々な数値、統計に関心を持つ。					
成績評価 方法	授業態度 ビジネス能力検定過去問題テスト 理解度テスト					
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備 考			
実務経験紹介		—				

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	総合学習Ⅱ	担当者	川添 樹子他	科目必修区分	選択必修
授業概要 (目的)	「自律」から「自立」をテーマに自ら考え行動出来る力を総合的に学ぶ時間として設定する。				
到達目標	①ホームルームや担任とのガイダンスなどクラス単位の中で主体性をもって発言行動できる ②イベントの目的や規則などを守り他の存在を意識して行動発言できる。 ③学校独自の就職活動規則や業界一般の活動のスケジュールや慣習などを理解し、他者と協調した就職活動ができる				
授業計画	総授業時間数 180時間 授業回数 180回 1回授業 45分				授業時間数
	1	LHR			12
	2	就職実務Ⅱ			10
	3	チャレンジ検定対策			40
	4	会社実務(簿記基礎)			34
	5	福祉交流			34
	6	フィジカルトレーニング			50
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	オリジナルプリント他				
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等)				
	2. 学校行事(夏フェスその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考		
実務経験紹介		—			

シラバス

令和7年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース2年次		授業方法	演習	講義時期	通年
授業科目	英会話II		担当者	非常勤講師	科目必修区分	後期
授業概要 (目的)	Prepare, practice, and present varying types of speeches in English and gain knowledge and experience in proper manners in public speaking.					
到達目標	・日常生活やビジネスシーンで使う英語力が身に着く。 ・プレゼンテーション内容の構成や原稿作りの体験を重ねることで、短時間で準備し印象に残る発表が英語で出来る。					
授業計画	総授業時間数 52時間		授業回数 52回	1回授業 45分		授業時間数
	1	Unit Two Review and Introducing Someone Test Presentations				2
	2	Getting Ready for Speech (Demonstration) Unit Three Part 1				2
	3	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format				4
	4	Unit Three Part 2, Demonstration Speeches Patterns and Practice				4
	5	Unit Three Review and Demonstration Speeches Test Presentations				4
	6	Getting Ready for Speech (Layout Speeches) Unit Four Part 1				4
	7	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format				4
	8	Unit Four Part 2, Layout Speeches, Patterns and Practice				4
	9	Unit Four Review and Layout Speeches Test Presentations				4
	10	Getting Ready for Speech Unit Five (Book and Movie Reviews) Part 1				4
	11	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format				4
	12	Unit Five Part 2, Book and Movie Reviews Patterns and Practice				4
	13	Movie and Book Review Practice Presentations				4
	14	Unit Five Review and Book and Movie Review Test Presentations				4
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	Getting Ready for Speech "A Beginner's Guide to Public Speaking" (Language Solutions Publishing/Charles LeBeau & David Harrington)					
時間外 学習						
成績評価 方法	【出席率(30%)】【授業態度(30%)】【評価テスト(40%)】					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース2年次		授業方法	講義・演習		講義時期	通年
授業科目	実用英語II		担当者	新里玲子・川添樹子		科目必修区分	後期
授業概要 (目的)	・過去問・模試演習を通して、1・2次試験の出題傾向を認識する。 ・英検合格に必要な英語力(語彙・文法・読解・ライティング、リスニング)を習得する。						
到達目標	・英検出題頻度の高い1,000語を理解できる。 ・英文法の基礎を理解し、30～100語の英作文を作成する事ができる。 ・社会生活に必要な英語を理解し、使用する事ができる。						
授業計画	総授業時間数 96時間 授業回数 96回 1回授業 45分						授業時間数
	1	オリエンテーション					2
	2	実力診断テスト(模擬試験)					4
	3	大問1対策: 語彙・イディオム、文法					10
	4	大問2対策: 語彙・イディオム、長文読解(空所補充)					2
	5	大問3対策: 語彙・イディオム、長文読解(Email、長文読解)					6
	6	大問4対策①: 語彙・イディオム、ライティング(要約/Email)					10
	7	大問4対策②: 語彙・イディオム、ライティング(英作文)					18
	8	リスニング対策(問題演習、シャドーイング、ディクテーション)					10
	9	第1回～第4回 模擬試験(過去問題)、解答解説					10
	10	1次試験対策総まとめ					10
	11	2次試験対策(問題内容・解答方法、質問応答練習、模擬面接)					14
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					96
教科書	2025年度版過去全6回全問題集(旺文社)、でる順パス単(旺文社)他						
時間外 学習	単語学習、ライティング(要約/Email、英作文)他						
成績評価 方法	【出席10P】【授業態度10P】【確認テスト20P】【提出課題20P】【評価テスト40P】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考				
実務経験紹介		—					

シラバス

令和7年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアライン科 グランドハンドリングコース・2年次		授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	入社前実習		担当者	川添 樹子	科目必修区分	選択必修
授業概要 (目的)	①講義等で得た知識を実践の場で体験を行う ②就職を意識した企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修の実施					
到達目標	①各内定を頂いた企業からの事前課題資料の学習及び業務についての基礎的な学習の実施。 ②社会人また職業人としての基礎的な知識また実技を習得する。					
授業計画	総授業時間数 328時間 授業回数 328回 1回授業 45分					授業時間数
	1	入社前実習				328
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					328
教科書	企業オリジナル教材					
時間外 学習	学内で学んだ専門用語等の資料を復習する。					
成績評価 方法	勤怠状況等により、総合的に評価する。					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考			
実務経験紹介	—					